



# サイジャーナル

月刊  
27-1・2  
第419号

日本サイ科学会 平成 27 年 1 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会  
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北	中 部	北 陸	関 西	九 州
〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	〒466-0051 名古屋市中区和区 御器所3-4-21 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (871) 9060	〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	〒659-0011 芦屋市六龍荘町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159

## 年頭のご挨拶

会長 浪平 博人

新しい年を迎えるにあたり、  
日本サイ科学会の発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

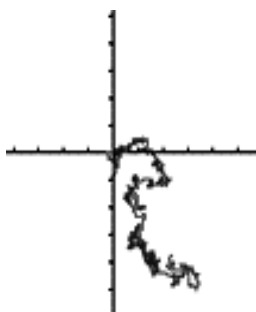


過日、ハヤブサ宇宙探査機が60億キロの旅をなし終え地球に帰還した感動的なことがありました。これは、科学技術の枠組みの偉大さを示すものであり、その有効性は疑いえないものであります。

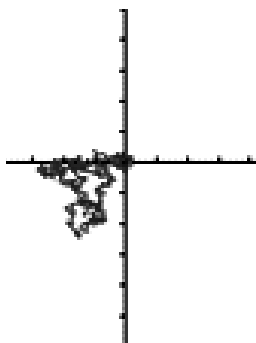
一方、人の綾なす中での出来事は、状態自体が計測困難で変化の予測はほとんど不可能です。これは、相互関係がきわめて複雑になった為だけとは思えません。

自然に起こることと人に関連する事との間で決定的に異なることは、人には思い・意志があることです。現在の科学では、人の思いは物質に何も影響を与えないとしてこれを無視しています。我々は、そうではないという立場にあり、従来の科学と整合性のある新しい世界観の構築に努力しているわけであります。

その構築は、まず、事実の膨大な集積と整理から始まります。そして、それらの個々に捉われず、自由な目でそれらを俯瞰したときに新しい全てを統べる原理が見つかるのです。例を示しましょう。



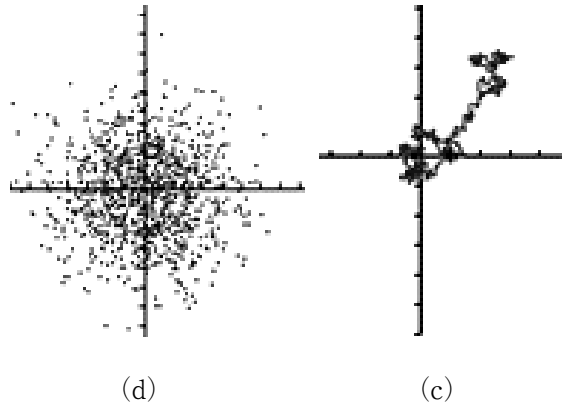
(a)



(b)

### 今月号の記事

- ◎ 会長 年頭のご挨拶
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 一月二月本部例会のお知らせ
- ◎ 関西サイ科学会一月二月三月研究集会のお知らせ
- ◎ 九州サイ科学会一月二月研究集会のお知らせ
- ◎ 北陸サイ科学会二月例会予告
- ◎ 中部サイ科学会三月例会予告
- ◎ 中部サイ科学会九月例会報告
- ◎ 第24回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 第2回スピリチュアル分科会
- ◎ 平成25年9月本部例会報告
- ◎ 第三八九回関西サイ科学会報告の図版差し替え
- ◎ 第三九〇回関西サイ科学会報告
- ◎ 本部例会ビデオ映像の販売
- ◎ 本部長例会講演録の販売
- ◎ オープンとサイはテラヘルツの周波数域内に潜在している
- ◎ P S I と進化についての一考察



図(a)、(b)、(c)は、1000歩のランダムウォークの経過図です。これを個々に見ると、とても規則があるとは見抜けません。図(d)は、1000回の試行の最後の到達点を記録したものです。これを見ると、明らかな規則性が見抜けません。いまサイに関してでは着実に事実の集積・整理が進んでおります。次の高みへの飛躍を予感する次第です。

皆様のご活躍を期待します。

「心を科学する博物館」と  
一般の御寄付御礼  
(12/13受領分まで)

金四〇万円也 品川 次郎 様  
金六万円也 木村 陽一 様  
金三万一千円也 匿名 様

### 一月本部例会のお知らせ

THE SOURCE CODES  
ソースコードは何ですか？

講師 トレイシー・アッシュュ氏

この講演は、超人的な潜在能力のフロンティアと、超人的な潜在能力発揮のために、「ソースコード」を入力する技術をご紹介します。

今回は3つの面から講義します。

(1) ソースコード・フィールドにおける科学的な証拠

(2) 高い振動数の、瞑想技術と超人的な潜在能力への移行の探求。何が結果を加速するか？

新しい人間のもつ潜在能力の卓越性は、危機的な世界的変化の解決策のために、どのように解錠されるのか？

(3) サイ能力のデモンストレーションと調査

(4) 日本サイ科学会会員など参加者がソースコードを体験し、最後に「世界平和瞑想」を行います。

### ●トレイシー・アッシュュ氏のプロフィール

世界で一万四千人以上のオピニオンリーダーに実施した「ライフ・ビジョン・コンサルテーション」はメーカーや意識の高い個人を変える。学校および療養所において三万人を超える個人のトレーニング。トレイシーは、意識のネットワーク、意識の療養所、ライフビジョンスクール、サイキックスクール、そして神聖なヒーリングの創造者です。

1999年から2015年の活動。ライフビジョン・コンサルテーション、ライフビジョンスクール、サイキックスクールが、ロンドンと東京で設立された。意識の療養会が、富士山、エジプト、ヨーロッパで開催される。シンクロ

ニシティ・ジャパン(株)、サイキック研究の大学、生命の木フェスティバル、日本サイ科学会、マインド・ボディ・スピリット・フェスティバル、ロンドン・スピリチュアリティ・カレッジ等々におけるプレゼンター・コンサルタント。

※英国人のトレイシー・アッシュ氏は、卓越したヒーリング能力をもち、多くの人々の意識の変容と魂の目覚めを起こしてきた、著名なサイキック指導者です。

日本サイ科学会本部例会で御講演が聴ける貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

日時 平成27年1月10日(土)

午後1時半〜5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

## 二月本部例会のお知らせ

## 物質化現象 無から有は生じる

講師 スワミ

宇宙出現のビッグバンと同様の現象を、タイの洞窟の中で100%に近い再現性をもって、再現可能である。そこでは、激しい火花が爆発音を伴って発生し、それに伴い、様々な物質が出現する。

金属状の物、鉱物状の物、等が多数出現し降ってくる。多くの場合、それらの物質は、融解後急速に冷えて固まった形状を示し、出現直後は高温である場合が多々見られる。

その為、それらの出現物を受け止める回収用の天幕状の布が、焼けて小さな穴が空く場合もある。これらの出現物は一度に数十個以上、まさに雨のように降ってくる場合が多い。

この現象は、無から有が生じる物質化現象であり、まさに超小型のビッグバンである。

また、細長い金属質の棒状物が

洞窟の天井より出現し、あたかも蛇のようにクネクネと動き回る。直径は5センチ程度の場合が多いが、長さは数十メートルに及ぶ場合もある。

先端部は動き回り、参加者の方へ近づく場合もある。もう一方の先端部は、天井の中にあるため確認できない。このような意思を持った生命体のような動きをする金属質の棒状物質が数本出現する場合もある。

これら全ての現象は、高感度カメラによって動画撮影可能である。

講演では、この現象の紹介と、この現象発生のメカニズムを説明し、また、出現した物質を持参し、公開します。これらの現象を撮影したビデオも公開致します。

## ●スワミのプロフィール

広島県立呉三津田高校出身。  
筑波大学第一学群自然学類卒業。

幼少期より理解困難現象の体験が多かったため、それらの現象の物理学的説明を行うことを目的に、物理学者となることを目指す。無から有が生じたかに思われる、インドの聖者達の行う物質化現象

の理論的説明を人生の目標とし、物質化を行える聖者・ヒーラー達を訪ね歩いたが、最終的には自身も物質化を行えるようにならなければ、真の物質化の証明にはならないことを悟り、十数年にわたるインドの聖者の弟子となり修行に明け暮れた。

2000年に全ての修行を納め日本に戻り、物質化の証明はもとより、自らも物質化を行い、多くの人々に出現させた物を差し上げてきた。

その後、さらなる真理を求めフイリピンに渡り、心霊治療の能力を獲得し、ヒーラーとなる。

その後、フイリピンジャングルの中で、4年間、魔法学校の教頭として、各種奇蹟顕現の手法を教授した。3年前より、タイにて、神聖秘法術科学学校を開催し、多くの奇蹟顕現手法の伝授と実践を行っている。

物質化現象の理論的説明に一区切りが付いた現在、究極の課題であるビッグバンの再現を行っている。

※普段外部の会ではほとんど講演されない スワミ が能力者となられてからの久しぶりの御講演な

ので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

日時 平成27年2月14日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

※3月の本部例会はお休みとなります。

## ◆ ◆

## 関西日本サイ科学会

## 一月研究集会のお知らせ

手相の神秘と科学

— 脳の活用で手相が変わる —

講師 高峯 秀樹氏

日時 平成27年1月17日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

九州日本サイ科学会  
一月新年会のお知らせ

日時 平成27年1月25日(日)

午後12時～2時

会場 割烹 大判

(095・821・2626)

交通 長崎市役所徒歩1分

桜町駅から107m

会費 4000円

予約等問合せ

095・883・6048

交通 諏訪神社前徒歩5分

会費 未定

予約等問合せ

095・883・6048

北陸日本サイ科学会  
二月研究集会のお知らせ

エナジーセンター

～チャクラでみる五感療法～

講師 苗 鉄軍 先生  
(工学博士、日本サイ科学会理事)

日時 平成27年2月22日(日)

午後1時半～4時半

会場 ホリスティック健康科学研究

究所 研修室

(石川県金沢市高岡町12・45  
ロイヤルシャトー南町1F)

詳細はお問い合わせ下さい。

北陸日本サイ学会(ホリスティッ

ク健康科学研究所内)

TEL076・234・6634

関西日本サイ科学会  
二月研究集会のお知らせ

比較言語学で読み解く記紀が  
黙して語らない日本の古代の  
真実

講師 坂井 洋一氏

日時 平成27年2月21日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

講師 長堀 優氏  
ゆたか

日本の目覚めは世界の夜明け

日時 平成27年3月14日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

九州日本サイ科学会  
二月研究集会のお知らせ

講師 島 重忠氏  
(伊勢宮神社 宮司)

※タイトルは未定です。

日時 平成27年2月8日(日)

午後1時～3時

会場 伊勢宮神社内楠照殿

長崎市伊勢町2・14

(095・823・2665)

中部日本サイ科学会  
三月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成27年3月14日(土)

午後1時～5時

会場 博愛癒院ホール

名古屋市昭和区

御器所3・4・21

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 無料

※会員以外の方の参加も大歓迎  
問合せ052・871・9060

中部日本サイ科学会  
九月研究集会報告

日時 平成26年9月20日(土)

会場 博愛癒院ホール

会員の鈴木通敬氏を中心に、非  
会員も含め十数名にて、座談会を  
開催しました。

第24回宇宙生命研究分科会

第7回ヒポクラテスシンポジウム

日時 平成27年3月29日(日)

10時～17時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス「渋谷駅

行で「新馬場駅前」下車

会費 会員 五〇〇円(日本サイ科

学会・サトルエネルギー

学会・太陽の会会員)

一般一〇〇〇円

(世話人 阿久津 淳)

第2回スピリチュアル研究  
分科会のお知らせ

日時 平成27年4月26日(日)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室

(東京都北区王子1-11-1)

会費 会員 500円

一般 1000円

※参加ご希望の方は予約が必要で  
す。できるだけメールで

E-mail office21@psj.smil.boke.jp

宛てに、メールを使わない方は、

FAX047・330・4091

に「スピリチュアル研究分科会

参加希望」と「住所 氏名 電話

番号 会員、非会員の別」をお知

らせ願います。

平成25年9月本部例会報告

ブラジルの奇跡のヒーラー  
ジョン・オブ・ゴッド

講師 奥野 節子氏

今日お話しするジョン・オブ・  
ゴッドですが、私は2007年に  
ニューヨークで初めてジョン・オ  
ブ・ゴッドに会って以来、これま  
で六回ほどブラジルの診療所を訪  
れました。1番新しいところでは  
先月の八月に訪れました。ブラジ  
ルの首都ブラジリアから車で1時

間半ほどの小さな町アバデアニ  
アに彼の診療所があります。

聖イグナチオの家…通称カーサ  
と呼ばれ、ここには心や体の病を  
癒やすため、世界中から毎日何千  
人もの人々が訪れています。医師  
からも見放されたガンが治った、  
あるいは失明寸前だった人が目が  
見えるようになった、というよう  
な奇跡の話があふれています。

私は翻訳者ですので、ヒーリン  
グの科学的分析については、お話  
しできませんが、現地を数多く訪  
問した者として、写真やビデオを  
交えながら、現地で経験したヒー  
リングについて、本日はご紹介し  
たいと思います。

お話のアウトラインですが、ま  
ず前半はジョン・オブ・ゴッドと  
はどんな人物か、ジョン・オブ・  
ゴッドの体を借りてヒーリングを  
行う「エンティティ」とはどん  
な存在か、カーサのヒーリングの  
背景にある「スピリティズム」と  
いう考え方はどんなものか、カー  
サのシンボルである「聖なる三角  
形」とは何を意味するのか、につ  
いてお話しします。続いてカーサ  
でヒーリングを受けるまでの行程

についてお話しします。

後半では先月カーサで購入しました新しい紹介のDVDをお見せ致します。

ジョン・オブ・ゴッドは本名をジョアン・テイシエイラ・ダ・フアリアといいます。彼はカトリックの貧しい家庭に生まれ、教育は小学校2年生までしか受けられませんでした。そのために今でも読み書きができません。初めてヒーリングを行ったのはわずか16歳のときで、仕事を探しに行ったカンプ克蘭テという町でした。

空腹でふらふらと水際に行ったとき、美しい女性に呼び止められ、後にそれは聖リタのスピリットと判ったのですが、スピリティストセンターに連れていかれます。そこに着いたとき、あまりの空腹で失神してしまいます。目覚めると失神中にソロモン王が入り込み、50人以上にヒーリングを行ったと言われました。

その後指導霊であるエンティティーから教えと導きが与えられ、ブラジル中を旅して病人を癒やし、ミディアム・ジョアンと呼ばれるようになりました。ミディアム

ムというのは、霊媒師という意味です。

1979年にはヒーリングに専念するため、聖イグナチオの家(通称カーサ)を設立し、それ以来今も無料でヒーリングを続けています。世界で現存するヒーラーの中で最強と言われ、エイズ、ガン、失明者、脊椎障害、統合失調症、鬱病など、様々な病気を癒やしてきました。

一例としてはペルーのフジモリ元大統領の腕の筋萎縮症と息子さんの精神障害を治して、ペルー政府から名誉勲章をもらっています。数年前のことですが、アメリカで有名なトークショー司会者であるオペラウインフリーもカーサを訪問して、スペシャル番組を作って、アメリカ中に放映されました。そのためにこの2、3年かなり訪問客が増えているのですが、ジョン・オブ・ゴッド本人の態度はまったく変わっていません。

水曜日から金曜日までカーサの仕事があるのですが、それ以外では自分で車を運転して、いろいろなボサダ(宿泊施設)に食事に来たり、他のお店を訪れているようです。彼を見かけたら、声を掛けると気軽に写真を撮ってくれたり、握手したりしてくれます。

去年滞在したときには、私たちが宿泊したボサダに夕食時間も終わった頃にジョン・オブ・ゴッドがやってきて、私たちが食べた残りのもので食事をしていました。

それを見て、申し訳ないと思っただけです。でもそのときに、挨拶に行くときにこやかに対応してくれて、握手してくれました。

彼の口癖が「治療しているのは神であって、自分は誰も癒やしていない」ということなのですが、まったくその通りで、けっして奢らず非常に親しみやすい印象です。

ではエンティティーとはどんな存在か? ジョン・オブ・ゴッドのヒーリングで重要なものは、エンティティーと呼ばれる霊的存在です。エンティティーの中には、過去に医療に携わった医師もいれば、スピリチュアルな指導者、聖職者などもいて、その数は現在およそ38人です。彼らがジョン・オブ・ゴッドの体を借りて、ヒーリングを行っています。ヒーリングの間、ジョン・オブ・ゴッドの意識はまったく無くなり、これを「フル・ト

ランス・ミディアム」というのですが、その間に起こったことはジョン・オブ・ゴッドはまったく覚えていません。

カーサのメインルームに飾ってあるエンティティーの絵があります。聖リタ、聖フランシスコ、ペンティアード医師、ジョゼ・バルデイビーノ医師、アウグスト・デ・アルメイダ医師、聖イグナチオ・デ・ロヨラ、オズワルド・クルス医師、聖フランシスコ・ザビエルとなります。

ではもう少し代表的なエンティティーについて、お話ししたいと思います。

◎聖イグナチオ・デ・ロヨラ…1941年にスペインのバスク地方の貴族の家に生まれました。軍隊に入隊し、戦いで脚が不具になります。療養中にスピリチュアルな書物に目覚め、人生の後半はその探求に捧げ、イエズス会を設立しました。イグナチオは、お祈り、瞑想、内省を取り入れた「霊操」という自己教育法を編み出しました。体を鍛えるのが体操なら、霊魂を磨いて訓練するのが、霊操です。聖イグナチオの家は霊操を実践する場所です。毎年彼の誕生日に

はミディアム・ジョアンの中に聖イグナチオが入り込みます。聖イグナチオが入るとミディアム・ジョアンは脚を引きずり、深い蒼色の眼に変わります。

◎聖フランシスコ・ザビエル…インド諸国と日本へのキリスト教伝道者として知られます。1552年に亡くなり、埋葬後3度に渡って遺体が掘り起こされ、医師や聖職者によって調べられました。遺体は元のままでした。

1614年にイエズス会はザビエルの右手を切断し、ローマに持ってくるように指示しました。これは現在ローマの教会に安置されているザビエルの右手の写真です。今はカーサにはないのですが、2、3年前まで、これはメインホールに飾られていました。

ザビエルは右手で洗礼の儀式を行い、病人を癒やし、奇跡を起こしたと言われています。この話を聞いたとき、私はザビエルは歴史で習ったのですが、あまりヒーリングを行ったということは聞いていなかったのです、ちょっと驚きました。

◎アウグスト・デ・アルメイダ医師…聖イグナチオの家で一番多く

現れます。前世で軍隊にいたこともあれば、医師であったこともあります。アウグスト医師がミディアム・ジョアンに入ると、権威的態度が見られ、秩序と尊敬を要求します。



◎ジョゼ・バルデイビーノ医師…アウグスト医師と並んで、よく現れます。優しく思いやりがあり、愛にあふれています。バルデイビーノ医師がミディアム・ジョアンに入ると、マヒの患者を治療するパワフルなエネルギーを持つているため、彼が手で触れて、歩くように命令し、奇跡的なヒーリングが起こることが多いです。

この他に、ソロモン王、オズワ

ルド・クルス医師などがいて、この数年はさらに新しいエンティティーが現れ始めています。これらの肉体を持たないスピリットたちは私たちにヒーリングを提供するという使命を持っていますが、それはスピリットの世界でエンティティー自身が進化するために必要なことです。

この考えはスピリティズムの教義に基づいています。スピリティズムとは何か？ですが、スピリティズムの提唱者は19世紀前半に活躍したフランス人のアラン・カルデックです。その基本的な考え方は、

1. スピリットは我々が「肉体を持つ以前」も「肉体を離れた後」も存在する
  2. スピリットは不滅である
  3. スピリットは再生する
  4. スピリットと生身の人間はコミュニケーションが可能である
- 特に霊媒師を介して、コミュニケーションは可能である

このような背景のもと、ブラジルの心霊治療家は特定の霊的存在の指導を受けて、ヒーリングを行っています。ブラジルの町には、

スピリティズムの集会所が沢山あり、平日でも多くの人々が訪れています。ここでは毎日スピリチュアルヒーリング（一種の手当療法）が無料で行われています。

次にカーサのシンボルである「聖なる三角形」についてお話しします。カーサのメインホールに入ると、ステージの真ん中の壁に大きな三角形が掛けられています。

このように三角形の底辺のところには、お祈りやお願いの事を書いた紙や写真が沢山はさまれています。三角形はカーサのシンボルで、底辺が「慈善」困っている人に奉仕知ること、右の辺が「愛」自分を愛し、他人にも愛を与えること、左の辺は「信じること」を意味します。この3つの言葉がカーサでヒーリングを経験するために重要なことです。このようにして三角形のところで皆祈りを捧げています。三角形で祈っただけで、奇跡が起こったという話はよく聞きます。

カーサでの治療は、人が列に並んだ段階からエンティティーがヒーリングを始めているので、もつとえば人が自分の国でカーサに行こうと決心した時から導きが始

まっているので、ジョン・オブ・ゴッドの前でのセッションが数秒間であったとしても、治療が終了しているのです。どのような返答をもらった場合でもセッションが終わると最後にカーサのスープを飲んでからポサダに戻ります。

ジョン・オブ・ゴッドの前に行ってエンティティーに会うと、たいていの場合は手術か、カレントルーム(自発的な瞑想)か、ハーブ(個別のエネルギを注入したパッションフラワー)なんですね。

手術の場合は当日か翌日、手術のラインに並びます。手術は目に見えない手術(スピリチュアル)と目に見える手術(フィジカル)があります。前者は治したい箇所か、複数の箇所を治したいときは胸に手を当てて待っていると、霊媒師から10〜15分位折りの言葉を受けます、後者は①鼻に柑子をつっこむ ②眼を削る ③腕や腹を一部切開する、の3種があります。どちらも同等の効果があります。

※後半は、アメリカ人が撮影したジョン・オブ・ゴッドのヒーリングのDVD動画を放映した。

第三八九回関西日本サイ  
科学会研究集会報告訂正

よみがえる日本・古事記以前の  
のくにの姿

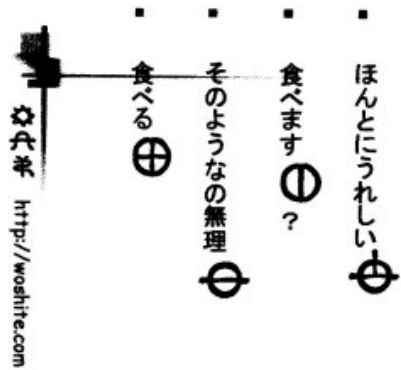
講師 平岡 憲人氏

「サイジャージャーナル11、12月号」の報告で使われた8、9頁の図版5枚にミスがありましたので、お詫び申し上げます。

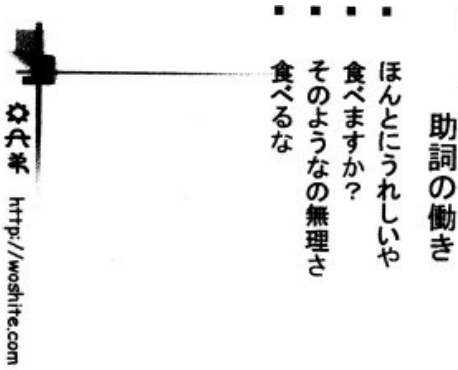
以下の「ラシテ文字」の5枚と差し替えをお願い致します。

わ	や	さ	ら	た	ま	な	は	か	あ	
w	y	s	r	t	m	n	h	k	a	
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	○
	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○
※	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
※	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

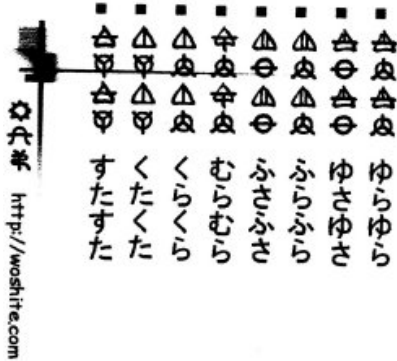
助詞の働き



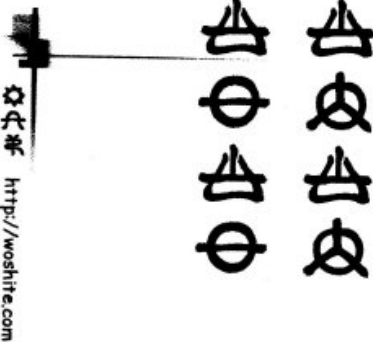
⑤ 文法とラシテ



③ 擬音・擬態語とラシテ



③ 擬音・擬態語とラシテ





### 第三九〇回関西日本サイ 科学会研究集会報告

#### 放射能分解理論の発見と可能 技術の数々

講師 高尾 征治氏

とき 平成26年7月19日  
ところ 大阪科学技術センター



高尾氏は1943年福岡生まれ。

1996年九州大学工学部化学機械工学科卒、2007年九州大学定年退官。現在、数社の技術顧問。著書『脳内パラダイム革命』がある。

たらず新しい宇宙生命像』、『新時代を拓く量子水学説』、分担執筆『フリーエネルギーはいつ完成するのか』、明窓出版(2013)など多数。

高尾<sup>\*1</sup>が提唱する量子水学説は、もともと放射能の分解を意図して構成された理論ではない。九州大学在職中、多くの水の改質機能技術を見聞する中で、水中では微量ながら原子転換が常温常圧で自然に起きている事実を突き止め、それを科学的に説明するために弁証法的物神一元論という新しい哲学的礎のもとで体系化された現象論、実体論、本質論からなる新しい学説である。

ところが、2011年の3・11震災に伴う福島原発事故が起き放射能汚染問題が突発し、徐染に有効な手だてはないものかという問い合わせが殺到した。そこで、常温常圧で自然に原子転換が起きる水の改質機能化技術を持つてすればそれが可能になるのではないかと考え、新技術を開発された方々に現地福島で放射能徐染実験を行うよう呼びかけた。その結果、殆どの方々から「放射能が低減できた」という報告が相次ぎ、それに

励まされて放射能問題に理論、実験の両面から本格的に取り組むことになった。

その結果、以下に示すように従来科学の成果を発展的に継承した新しい放射能分解理論を発見し地表面空間線量など放射能分解データを科学的に説明できるようになった<sup>\*2</sup>。

#### 1. 放射能分解理論の発見

従来科学は常温常圧で自然に起きる原子転換を否定し、異端視、排斥してきた。しかし、それは従来科学自身がつきとめていた別の事実や考え方と矛盾している。というのは、素粒子の中で唯一ニュートリノという素粒子が作用すれば原子番号がプラマイ1変化する原子転換が自然に起こり<sup>\*3</sup>、半減期に関わり放射性元素は寿命が来れば非放射性元素に自然に原子転換する<sup>\*4</sup>ことが確かめられているからである。例えば、従来科学は半減期30.17年という原子番号55の放射性セシウム137(<sup>137</sup>Cs<sup>55</sup>)は、ベータ線( $\beta$ )やガンマ( $\gamma$ )線を放射して原子番号が56のバリウム(<sup>56</sup>Ba<sup>137</sup>)になるとの観測事実まで突き止めている<sup>\*4</sup>。

これは原子転換による化学転換ととらえるべきで、このような原子転換を可能にする素粒子は100種を超える素粒子のうちニュートリノしかない。というのは、正ニュートリノ( $\nu$ )が作用すると原子番号が1つ多いプラスの原子ラジカルに転換され、電子( $e^-$ )、すなわちベータ( $\beta$ )線が電荷保存的に発生し、反ニュートリノ( $\bar{\nu}$ )が作用すると原子番号が1つ少ないマイナスの原子ラジカルに転換され、陽電子( $e^+$ )が電荷保存的に発生し、電子と陽電子が衝突すればガンマ( $\gamma$ )線が発生するからである。

さらに、現代物理学は、真空はエネルギーに満ちており正、反ニュートリノや電子、陽電子などの正、反粒子が対発生・対消滅するとみている。しかし、それが起きる前・後の状態はゼロになるので、それは虚・実境界域のゼロ点で起きるということを暗に含んでいることになる。すなわち、従来科学の放射性物質の寿命崩壊論にはゼロ点生滅のニュートリノが潜んでいる。それ故、人工的にニュートリノをゼロ点生滅させる技術があれば放射性物質は自然に起きる原

子転換で化学的に分解できることになる。

2. 放射能分解可能技術の数々

その要請に答えられる技術は数多くある。

一つには、ナノテク技術がある。フルボ酸、竹炭、燃えない高機能炭、セラックスMや、セラミック炭素<sup>※5</sup>、<sup>※6</sup>などのセラミックス、 $\gamma$ G7水、エネカ水、ナノバブル水などの改質機能化水、微泡、微小水滴、微粒子など広範囲に及ぶ。

高温高压で焼成したセラミックス中の珪酸や珪酸塩は、図1に示すナノ結晶構造をしている。珪酸は正四面体構造(二次元では正三角形)、珪酸塩は珪酸が六角形状に集積した構造(二次元では六芒星型)で、その中心に微小な結晶孔(薄緑色)があり、そこからニュートリノなどの量子エネルギーが渦巻いて湧く。

図2、3、4に微泡、微小水滴、微粒子から湧くニュートリノなど量子エネルギーの実証写真を示す。それぞれの中心からニュートリノなど量子エネルギーが渦巻いて湧いていることがわかる。

図1 セラミックス含有珪酸、珪酸塩のナノ結晶構造

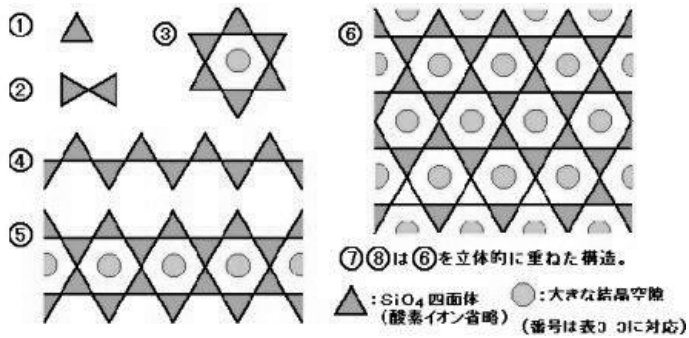


図2 微泡(水中で青白い閃光に)

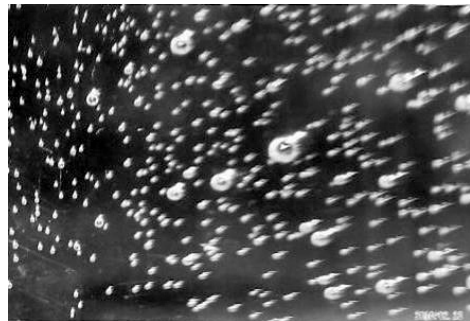


図4 珪酸塩コロイド粒子

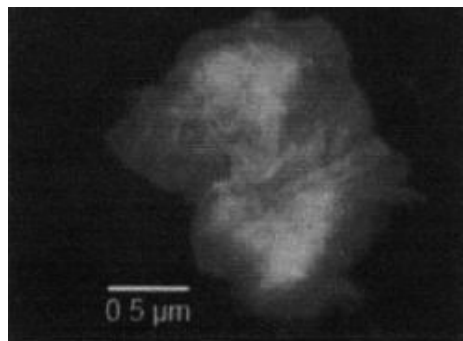


図3 水滴(表面の針状突起白色光)



ナノテク技術に位置する放射能分解実験の事例として、河尻<sup>※5</sup>、<sup>※6</sup>が現地福島で20000坪の放射能汚染原野で行ったセラミック炭素の埋設結果実験がある。図5、6に実験結果を示す。すなわち、0.5トンのセラミック炭素を20m四方の4箇所と中心1箇所、

計5箇所に計2.5トン埋設した。30m径の八角形内の8ライン上に中心を含めると計4点の計測地点を設け地表空間線量を計測した。その結果、3~4 $\mu$ Sv/hの地表放射線量が約半年で半減することが確かめられ、結界域の10倍にあたる200m先までも影響を及ぼすことがわかった。

二つには、微生物技術がある。微生物は常温常圧で自然に原子転換を起こす能力を持つことが1975年ノーベル物理学賞の受賞

図5 セラミック炭素の埋設結果  
位置と地表面空間線量計測地点

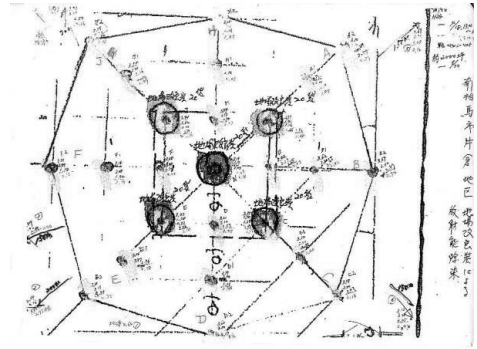
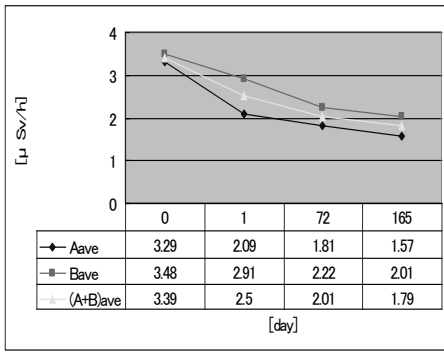


図6 空間地表面線量の経日変化



候補者にノミネートされたケルプランにより経験的に主張され、高尾の量子水学説により科学的に説明されている。この種の微生物技術を駆使した実験事例として、

1. 田崎和恵金沢大学名誉教授や
2. 高島康豪博士などによる現地実験がある。

高嶋は複合微生物発酵技術を用いた2ヶ月半の現地実験で、対照区で地表面放射線量が増加する中でも、試験区ではその増加分を含めて大きく減少させることを確かめている。EM菌、NB菌なども現場で使用され除染実績をあげている。

三つには、永久磁石活用技術がある。

永久磁石はゼロ場ではないがゼロ磁場を形成し、そこからニュートリノなど量子エネルギーが生減することが確かめられている。そのような技術事例として、渡部のニュートリノゼロ場転換浄水器、上森のネオガイアやテラファイト器具、また、八重樫の通気口に永久磁石を配した燃料不要の廃棄物分解装置がある。燃料不要の廃棄物分解装置を用いた実験では、汚染杉皮パークの放射能が60〜70%

分解できるとの実験データがある。

四つには、広範囲の酵素触媒技術がある。

高尾<sup>\*1, \*2</sup>の量子水学説は、武谷三段階論を発展的に継承し現象論、実体論、本質論の三つからなる。その本質論では、従来科学が不問に付してきた酵素触媒のエネルギー本質が、酵素・触媒素材のナノ結晶構造や化学構造に波動共鳴してそれらの中心のゼロ点から渦巻いて生減するニュートリノなど量子エネルギーであることが科学的に突き止められている。

その実験事例の一つに、小原の現地福島放射能汚染水田での実験がある。すなわち、原之後の開発した酵素液を200倍に希釈した水溶液を反当たり450リッター、噴霧散布して地表面放射線量を計測した。図7に地表面空間線量の計測結果を示す。8つの広域試験区で4〜5μSv/hの地表面空間線量が約二週間後には1/10以下に減少していることがわかる。

五つには、特定の絵画や図像を描き、珪酸などと組み合わせ封入した波動器具がある。安藤が製

作しているステンレス製の「こづち」や「ミロク」あるいは上野<sup>\*7</sup>の「7龍神図」がそれである。

絵画に描かれた真正32面体などの図象や日本画を描く時の使う絵の具の素材に触媒活性の高い物質が使われているのでゼロ場が形成され、そこからニュートリノなど量子エネルギーが渦巻いて生減する。

上野<sup>\*7</sup>は、河尻の20m結界埋設法を導入して現地福島放射能汚染水田でビニールコーティングした「7龍神図」の埋設結果実験を行った。

図8、9にその実験系と実験結果を示す。ビニールコーティングした黄金色の「7龍神図」を4隅に埋設し、その4箇所の青色で示す4点(acg)と緑色で示す5点(bdeth)、計9点で地表面空間線量を計測した。このように計測した9点の平均放射能は、赤色の太線で示すように、当初2μSv/hだったが、23日後には1.5μSv/hに減少している。

また、この減少にニュートリノが関与しているということは、図10に示すように「7龍神図」の黄金

図7 OJS混合液体散水システムによる放射能除染(農地除染の経日変化)

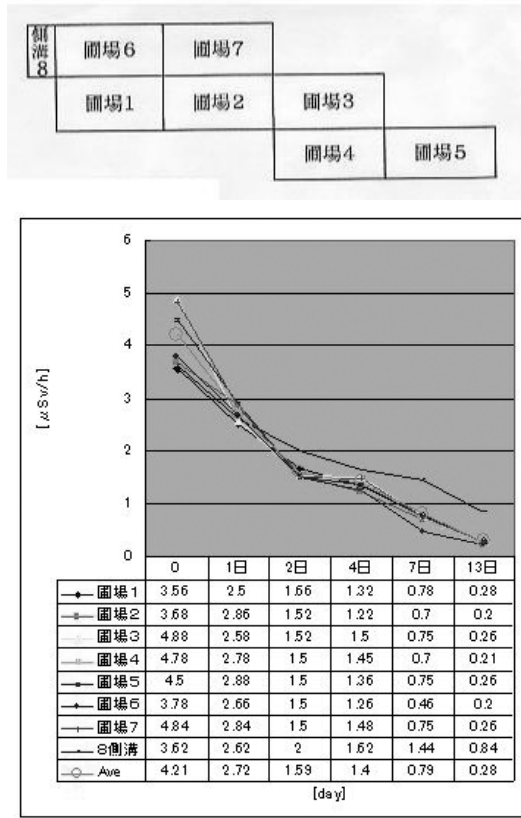


図8 「7龍神図」埋設結果位置

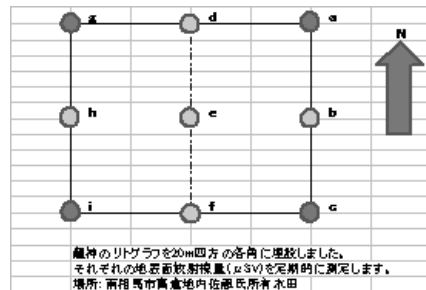


図10 「7龍神図」埋設結果の  
黄金色の青色変化

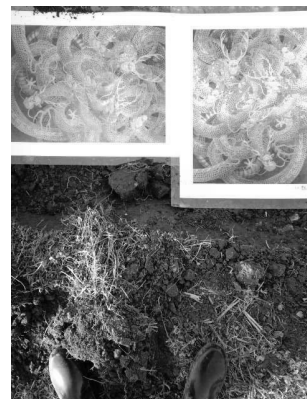


図9 「7龍神図」埋設結果による  
地表面線量の減少

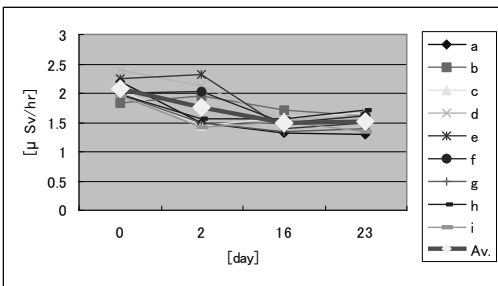


図11

セラミック炭素梱包白色布  
袋の青色変化



色部分が青色に変化していることからも伺える。相前後するが、このことは、図11に示すように図5、6に示す河尻のセラミック炭素の埋設実験系でも確かめられた。青色変化はニュートリノ反応の兆候を示す特徴でもあるからだ。

- 【引用文献】
- ※1 高尾征治:『宇宙生命三都物語』、pp.1-414、Ecoクリエイティブ(2013)
  - ※2 高尾征治:『新時代を拓く量子水学説』、pp.1-454、Ecoクリエイティブ(2014)
  - ※3 日本物理学会編:『ニュートリノと重力波』、pp.1-257、裳華房(1997)
  - ※4 桜井 弘:『元素111の新知識』、p.249、講談社(2006)

なお、この種の講演発表は、日本物理学会<sup>※3</sup>、環境放射能除染学会<sup>※6</sup>、<sup>※7</sup>でも行った。

※5 高尾征治：「27aX-E-4 放射性元素の寿命崩壊論に潜むゼロ点生滅ニュートリノと技術事例」、日本物理学会第68年会講演概要集、(2013年3月27日、広島大学)

※6 高尾征治：「放射性元素の寿命崩壊論に潜むニュートリノゼロ点生滅と技術事例」、環境放射能除染学会第2回研究発表会要旨集、p.41(2013年6月5日、タワーホール船堀(東京))

※7 上野未央・高尾征治：「絵画「7龍神図」の埋設結果による放射能分解実験」、環境放射能除染学会第2回研究発表会要旨集、p.171(2013年6月5日、タワーホール船堀(東京))(以上高尾氏)

◇ ◇  
現代物理学では否定されている原子転換の可能性について理論的に、また実験的に示された。

この技術が今後早めに常識となることを期待するものである。

当日の参加者は会員15名、非会員21名合計36名でした。今回のカセットテープは20000円です。事務局0797・22・6425まで(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

### 本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることができます。  
価格 1本につき 三五〇〇円 (送料含む)

以下のビデオ映像から、御注文願います。

◎2013年4月本部例会

講師 大野百合子氏

「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」

◎2013年5月本部例会

講師 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」

◎2013年6月本部例会

講師 松原秀樹氏

「アレルギーを治す秘訣」

◎2013年7月本部例会

講師 酒向猛氏

「千鳥学説を知るために」

◎2013年9月本部例会

講師 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーロー ジョン・オブ・ゴッド」

◎2013年10月第23回全国大会

シンポジウムテーマ

「サイと自然治癒力」

◎2013年11月本部例会

講師 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究―超能力研究の最前線」

◎2014年1月本部例会

講師 小川博章氏

「魂の発見」

◎2014年4月本部例会

講師 西川真知子氏

「生命の智慧 アーユルヴェーダ―アーユルヴェーダから見る生命のすばらしさ―」

◎2014年5月本部例会

講師 岩根和郎氏

「般若心経とサイ科学」

◎2014年6月本部例会

講師 秦西平氏

「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」

◎2014年7月本部例会

講師 小林信正氏

「ラップ現象の究明くオーブとの関連性について」

◎2014年9月本部例会

講師 石川允朗氏

「死後の世界と輪廻転生についての一考察」

◎2014年10月第24回全国大会

シンポジウムテーマ

「サイと天変地異」

◎2014年11月本部例会

講師 坂井洋一氏

「日本人は知らない！縄文日本の驚くべき真実」

メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「201〇年〇月〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。  
2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psjmail-box.ne.jp  
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みただければ、結構です。



## 《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウィンドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2,000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウィンドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております)

※御注文は郵便局にある「郵便振替用紙」の通信欄にご希望の講演録の『年/月 講師名』と金額(1回分2,000円)を記入し、郵便振替口座 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会にお振込願います。

あるいは、メールで先に事務局 office21@psij.mail-box.ne.jp に注文されても結構です。

2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」

2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」

2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」

2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」

2011/ 5/14 赤松瞳氏「最新脳科学と透視能力」

2011/ 6/12 井出治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」

2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?」

2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11新文明の幕開け～日本人の使命～」

2011/10/ 9 創立35周年記念大会 シンポジウムテーマ「パワースポット」

2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」

2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

2012/ 1/14 ミッツィ植田氏「縄文スピリットでサバイバル」

2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」

2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」

川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」

2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」

2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術『強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～』」

2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」

2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!？」

2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」

響をうける。つまりサイ(気)は季節に従って流動していくと推定した。場所が異なると(北京、八王子、福島、長谷村など)効果に差違が生ずる。これは、場所によってサイ(気)の存在に濃淡がある為だろう。サイ(気)は地球上に非均質に存在しており、しかも流動しているらしい。冬や夏では、効果は成長遅延に作用する。好ましい早春や春になると、サイ(気)は成長促進に転ずる。受精卵に対しては、気(サイ)はDNAの2重らせん構造(水素結合)を切る、又は繋げる作用が有る(気の活性化エネルギー $\Delta H=1.4eV$ )なので、品質改良が期待出来そうである。水晶、無誘導コイル、磁石、ピラミッド等から成る「人工外気集積装置」を用いた福島市の実験では、小豆類(植物)のテスト結果として、サイ(気)の効果は、発芽率にほぼ比例して生ずる(季節による波型の変動)という結果を得ている。

#### 4. まとめ

上記を総合して判断する。オーブ(たまゆら)とサイ(気)は、ともに、電磁波と光の間の波動域(テラヘルツ波)。より正確には、近赤外線領域の波動範囲内に潜んでいる。この領域は、人々が知覚出来る五感の感覚を超えているので、肉眼などでは見る事は出来ない。また、オーブ(たまゆら)やサイ(気)は、物質面と意識面を兼ね備えている(素粒子の相補性)、つまり、オーブ(たまゆら)の出現は、人の意識に関係するので、マクロPKの一種であると言えよう。オーブ(たまゆら)とサイ(気)は、地球全体を包み込むエーテル類似のエネルギーに関連して(空間に含有して、包み込まれて)存在している、と考えられる。従って、我々の居住空間には、オーブ(たまゆら)とサイ(気)が充満している(何時もそこに居る)事になる。我々が、出現可能な条件を造つてやると、表れてくる、と推定出来そうである。

2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の实在と能力」

2013/ 1/12 志賀一雅氏「 $\alpha$ 波のコヒーレンシーについて」

2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」

2013/ 4/13 大野百合子氏「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち  
—あなたは誰なのか—」

2013/ 5/11 浪平博人氏「イメージによる瞬間教育」

2013/ 6/ 9 松原秀樹氏「アレルギーを治す秘訣」

2013/ 7/13 酒向猛氏「千島学説を知るために」

2013/ 9/14 奥野節子氏「ブラジルの奇跡のヒーラー ジョン・オブ・ゴッド」

2013/10/13 第23回全国大会 シンポジウムテーマ「サイと自然治癒力」

2013/11/ 9 小久保秀之氏「生体センサによるサイ研究—超能力研究の最前線」

2014/ 1/11 小川博章氏「魂の発見」

2014/ 4/12 西川眞知子氏「生命の智慧 アーユルヴェーダ —アーユルヴェーダから見る  
生命のすばらしさ—」

2014/ 5/10 岩根和郎氏「般若心経とサイ科学」

2014/ 6/ 8 秦西平氏「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」

2014/ 7/12 小林信正氏「ラップ現象の究明—オーブとの関連性について—」

2014/ 9/13 石川允朗氏「死後の世界と輪廻転生についての一考察」

2014/10/12 第24回全国大会 シンポジウムテーマ「サイと天変地異」

2014/11/ 8 坂井洋一氏「日本人は知らない! 縄文日本の驚くべき真実」

るとは言い難いオーブ(たまゆら)とサイ(気)は、例えて言えば、「意識と無意識の関係」の無意識に類似していると思う。意識の母胎には無意識層があり、意識的と思われる個人の行為には、実は、母胎としての無意識があり、無意識的に行われる場合が多いと言う。つまり、オーブとサイの母胎になっているのは、空間に充滿していると思われるエーテル類似エネルギーではないだろうか。そして、意識に相当するものが、オーブ(画像)現象並びに念力現象(光念球、念写等)であると思う。この様に考えた理由として、本稿等の実験がある。つまり、上述によれば、オーブとサイは類似しており、同類のエネルギーが原因となって両者が出現してくると判断されるからである。

周知のように、真空中に充滿していると仮定されていたエーテル(古典論)は、マイケルソン、モーリーの実験等によってその存在が否定された、と判断されている。しかし、「カラッポ」であると判断されていた真空も、量子論によれば、実は、電子と陽電子の対消滅と対発生を伴う電子の海(ディラック)であり、負エネルギー(電子)がぎっしり詰まっている、と判断される様になってきた。他方、太陽系の星を含む(地球も)広大な宇宙では、未知なダーク物質が約22%、未知のダークエネルギーが74%を占めており、水素やヘリウムなどの既知のエネルギーは約4%程度である、という(Wikipediaなど)。そして、地球全体をすっぽりと包み込んでいると考えられる未知のエネルギーとエーテルの関係は、現在、依然として不明のままである。本稿では、エーテル類似エネルギーが母胎であると仮定する。

### 3-1) オーブの存在状態

上述のように、オーブ(たまゆら)は、夜空と降雨(水)に関連して出現しやすい。天空に存在している星は、何時でもそこに有る(存在の再現性)が、昼間は、太陽光に隠れてしまい(明るさに負ける)、見えない。素粒子は非局所的であり、広く拡散する性質があるので、オーブ(たまゆら)も、天空に、ランダムに拡がって出現することになる。また、オーブ(たまゆら)の基形として

の巴型の大気陽陰イオン・ボール形成には、水素イオン(陽イオン)とエアゾール(塵芥)が必要なので、降雨や滝に関連して出現することになる。ここでは一例として、台北市の龍山寺の場合(2014.10.16)をみる。天気は晴れ、人気の少ない堂内の天井や軒下(直射日光無し)や、屋外の人工滝(人数小)の側にある樹木(葉)の日影では、写り易い。同じ人工滝でも陽が当たっている所では出ない。そこに大勢の観光客がやってくると、今までは写っていた所(日影)でも、今度は写らない。観光客の(+)と(-)の意志(意念)が混ざり合って打ち消しあう為であろうか? 出ない(写らない)。実測値として、観光客が押しかける有名寺院(龍山寺本堂、山門等)や人気のある観光地(場所)では写らない(日本でも同様)。他方、お祭りなど、人々の喜びの気持ち(ポジティブな)が揃う所では、写りやすい。また、少人数であっても、祈りの場には出やすい。この時、晴天続きでエアゾールが少なく、空気成分の電離が小で、湿度が低いと思える時は写っても極くうすい(不明瞭)。しかし、この時、スプレーで噴霧を造ってやると(K式スプレー、川崎利男)、濃く写る(はっきり写る)事になる。この様に、多くの経験から判断すると、オーブ(たまゆら)は、何時も、何処にでも、我々のすぐ側にいるが、出現条件が整わないので写らない(出られない)と、判断できそうである。

### 3-2) サイ(気)の存在と効果

サイ(気)が仲介している、と判断出来るマクロPKには、多量の実験結果と考察が蓄積してある。上の(2-2)でも述べたが、サイ(気)は水と親和性があり、近赤外線領域に潜んでおり、意識に反応し、素粒子類似の性質を示している。ここでは、主として、物理的な原因によって生起すると判断される一例を述べる。1994~2002年にわたって、日本(社、工業技術振興協会)と中国(国、人体科学研究院)は共同研究を実施した。無誘導コイルにランダム・パルス波を通電して(陰と陽が加算して)造る零磁場(巴型ゼロ磁場)が受精卵ならびに初生雛に与える影響を調べた(約900個)。サイ(気)の効果は季節(環境)の影



りの場、祝い事等)などが良い。

(2) オープは水と親和力が高い。

小雨の降り始め時に写り易い。雨が降り始めると、空気の電離としての大気陰(-)イオン、大気陽(+)イオンならびに電子が増加して、これにエアゾール(微細物、埃類)が加算して、オープの母体(基盤)としての大気陰陽イオンボール(プラズマボール)が形成されやすくなる。また雲やモヤが凝固して雨(水滴)になるが、凝固には核が必要であり、エアゾール(微細粒子)がこれを分担している。雨の降り始めで、しかもエアゾールの多い生活活動の場で写り易くなる。したがって、雨が降り止んだ後や晴天が続いた後では、写り難くなる。つまり降雨後の晴天続きで、乾燥がすすみ、空中にエアゾールが無いと思える時には写らない(出現し難い)ことになる。以上、これらの物理的原因によって出現の可否が決められるものをオープンと呼び、これに意識要素(サイ、気)が加算されたものを我々は「たまゆら」と呼んでいる。

(3) オープの出現には意識が関係する。

人の意識は、時間や空間の枠組みをこえて存在している。つまり「気まぐれ」である。実験を続けたところ、撮影者の呼びかけに反応したり、御願いとすると写る等、オープン(たまゆら)は、意識に反応するエネルギー(情報)である事が判ってきた。一例として、実験結果をみる。一枚、一枚の写真に写されたオープン(たまゆら)には、それぞれに、ほぼ同一の円内模様(表情)、つまり、非対称干渉縞模様、唐代の鏡状模様、マンダラ模様などが写されている。場所、時間、撮影者などにより、それぞれは別々である。これは、撮影者の撮影時の意識状態(ASC)とオープンが共鳴・共振して(同調)して写った為である、と見られる。意識と体外にある物質(画像)が、直接に、情報交換する現象をマクロPK(念力)と言う。つまり、この現象はマクロPKの一種である事が判ってきた。

(4) オープには、素粒子類似の性質がある。

撮影された各一枚の写真に写されたオープン(たまゆら)群をみると、非局所的であり、ランダムに広く空間に拡散していることが判る。大き

さ(円直形)、模様、位置、ヘイロー(Halo)などはランダムで、同一のものは見当たらない。これは、構成要素としての単位の微小オープン(ロン薄葉の、クラスターオープン)が、素粒子類の性質を持ち、クーロン力によって結合されて大径(大型)オープン(たまゆら)として撮影されている為である、と判断する事が出来るだろう。

## 2-2)サイ(気)について

マクロPK(念力)とは、意識と体外にある物質が、直接に相互作用する現象であり、両者を結びつけるエネルギー(情報)をサイ(気)という。つまり、サイ(気)は意識と密接な関係にある。他方、マクロPKとしての実験結果(例、念写等)には、ランダム性や非局所性等の素粒子類似の性質が表れている。

(1) サイ(気)は水と親和力が高い。

気(サイ)を放射(放出)することの出来る能力者に御願いして、水に手かざし処理を施して気功水を造り、この気功水の電気伝導率を測定した。結果として、放射によって伝導率が高くなるという変化が認められた。他方、無誘導コイルを造り、水中でゼロ磁場を形成させて気功水を造ったところ、気功師の造った気功水の伝導率とほぼ同一程度の変化を得る事ができた。これらの基礎実験をもとにして、水をセンサーにして、サイ(気)を測定する手法を開発した。そして、この手法を用いて分杭峠の気場等の測定を多数実施した(1976~)。

(2) サイ(気)は近赤外線領域に潜んでいる。

水温を高くするほど気功水の電気伝導率は増加する。そこで、これを熱活性化過程として気(サイ)の活性化エネルギーを求めた。結果として $\Delta H=32\text{kcal/mol}$ 、( $\Delta H=1.39\text{eV}$ )の値を得た(1998~2004)。これは近赤外線領域の波動(エネルギー)を意味している。つまりサイ(気)はオープンと同様に、近赤外線領域に潜んでいる事がわかった。なお、この領域(テラヘルツ波)は非可視であり、五感では感知出来ない。

## 3. オープとサイの関係と存在

現在のところ、存在と再現性が保証されてい

が可能ならば、虚数宇宙と直結し、虚数×虚数＝実数というカラクリがあるのだらうと推定する。つまり虚数の織り成すシナジー効果がキーポイントであらうと思われる。

### PSI 科学の意味

米国、ロシア、中国などの大国のPSI研究は軍事的色彩を帯びており、国家の防衛費がバックにあるが、ニッポンの場合は平和目的であって、民間の個人的なポケットマネーが資本である。これはニッポンのPSI研究者側からすれば不平不満の種であらうが、私はニッポンではこれでいいのではないかと思う。最新の機械を装備して実験はできないし、PSIがまだ科学領域としては認知されていないニッポンでは、真面目に研究すればするほどトンデモ扱いにされてしまうのが落ちである。日本サイ科学会やサトルエネ

ルギー学会で発表される科学論文も数百万から数千万の予算がつけば、おそらくは大国のPSI研究に匹敵するか、否それ以上の論文になるに違いない。ただ機械や装置が科学するのではなく、その核心は科学者の極めてピュアな好奇心に委ねられているのである。つまり阿呆な科学者はどんな精密な機械や装置を使ったとしても、お金かけた阿呆な研究しかできないのであるというのが真相！ PSI研究は宇宙・生命・進化の問題を解明する際に鍵となる分野であり、軍事利用ではなく平和目的で研究するニッポンの姿勢は<負けるが勝ち>的なラッキーな状況にあるものと思える。日本サイ科学会は確かに貧乏学会ではあるが、平和目的と純粋な科学的好奇心で推進しているという意味では世界でも誇りうる稀な学会であるといえる。

---

## オーブとサイはテラヘルツの周波数域内に潜在している

佐々木 茂美

### 1. はしがき

オーブ(たまゆら)は、デジタルカメラで撮影した画面(CCD)にノイズ(画像)として写り込んでくる。不思議なことに、意識に反応し、素粒子類似の性質を持っている。他方サイ(気)は、体外にある物質と意識を結びつけるエネルギー(情報)であるが、実験結果には素粒子類似の性質があり、マクロPK(念力)現象を仲介する情報(物質)である。これらの意識と物質、素粒子類似等の性質からみると、両者は同類と見られるが、これらを比較検討し、議論した例は今までに殆ど見当たらない。そこで、本稿で取り扱うことにした。

### 2. 実験結果と検討

筆者らによって得られたオーブ(たまゆら)とサイ(気)の実験結果と検討の概要を述べる。

#### 2-1) オーブについて

オーブ(たまゆら)は、デジタルカメラが実用

化・販売された2000年当初から話題になってきた。円形に写り込むノイズであらうと判断されたので、研究は殆ど見当たらなかった。その後、先駆者として的小林正信らによって、近赤外線カメラには写るが、紫外線カメラ、その他には写らないことが確かめられた。

(1) オーブは近赤外線領域に潜んでいる。

オーブ(たまゆら)撮影用の著者らのデジタルカメラ(CCD)は、近赤外線領域を撮影できる感度のある事を確かめてある。オーブ(たまゆら)の最も写り易いのは、極早朝または日没後の薄暗い真上(天)の空である。市街地で、空気が電離していると思える夜の空に向けて、フラッシュ撮影すると写ることになる。写らない場合には、同一状況(画面)のフラッシュ撮影を、何回か(2~8回程度)繰り返すと写る。小高い丘の上から市街(住宅など)と空が見える場所、または花火やお祭りの観覧席と空などで、しかも、生命力と人々の関心が集っていると思える場所(祈

み可能になるといったからくりなのである。

## PSIと進化

手が自由になり、言語と抽象能力をものにし、肥大化した脳をもつヒトはこれからどこに向かうのか？ 次の一步、新たな1%の進化は何を意味するのか？ この答えはPSI能力しかないのではないかと思うのである。一寸先は闇の社会において、先が見通せる千里眼、突然やってくる天変地異、土砂崩れや津波、火山の噴石、ゲリラ竜巻あるいは交通事故や精神異常者・ドラッグ中毒者の包丁を振り回すような暴力に普通は何をなすこともできないが、PSI能力を精神感応でも遠隔透視でもサイコキネシスやテレポート能力がある超人ならば、なんなく危機を回避することができるだろう。あるいは守護霊や先祖霊がそれとなく危機を伝えてくれるのではないだろうか？

チャールズ・ダーウィンは突然変異と自然選択で進化を説明したが、アルフレッド・ラッセル・ウォーレスはきっかけを先駆けて作ったとはいえ、性選択やスピリチュアリズムからそれだけでは十分でないと感じていたのだろう。今西錦司は運とか変わるべくして変わると進化論を表現したが、生物の主体性を考えれば、アンリ・ベルグソンのエラン・ヴィタル（生命の躍動）が創造的進化の源となり、結果論的に運とか自然選択といった解釈になってしまうだけの話である。もっと微視的にいえば、まるでつるまきのダウジングのようにPSI能力をフルに発揮して放散したエラン・ヴィタルが周囲を宇宙として意識しながら、ダイナミックに突き進んでゆく。正四面体を連続的に繋ぎ合わせるとテトラスクロールになるが、その二重螺旋こそが生命そのものなのであろう。

## 精神(魂)の座

私は15歳の頃、ウィリアム・バードのミサ曲を歌った際に戦慄を体験したときから、57歳の今日に至るまで、その曲を想起するだけで、戦慄を再体験できる。そのクダグリーニ上昇の体験は、精神の座がどこにあるのかを暗示するのである。

レオナルド・ダ・ヴィンチは精神の座を解剖までして執拗に探求し、それを第3脳室とした。一方、ルネ・デカルトはそれを松果体に求めたのである。現代科学では脳全体に精神の座を委ね、特定の部位には着目してはいないが、私は、先の両巨人の肩を借りて<脳幹と第3脳室と松果体の三角地帯：第三の目と脊髄の交差部位>が精神(魂)の座なのではないか？と思う。身体情報が脳幹を通じて、自然環境情報が第三の目及び松果体を通じて、宇宙情報が第3脳室を通じて、精神(魂)の場ができあがるのである。その座は恐らくは正四面体(テトラヘドロン)であると思うのである。

## 永久機関とシナジー効果

宇宙が永久機関でないならば、永久機関は存在しない。もし宇宙が永久機関であるならば、その宇宙のいとなみに密かに参画することで、永久機関は存在しうるかもしれない。宇宙の大爆発(ビッグバン)から始まった宇宙はそもそも永久機関ではない。フレッド・ホイルの定常宇宙論ならば、永久機関といえないこともないが、現在では軍配は大爆発(ビッグバン)にあがっている。スティーブン・ホーキングは虚数時間を想定しているが、もしこの実宇宙が虚数宇宙から誕生したものと考えると、永久機関も夢ではないのではないかと思うのである。原初宇宙が虚数の海だったとして、私たちの体内に地球太古の海と生物が川を上ったときの海といった2つの海を持っている様に、私たちの体内にもその虚数の海を有していたと仮定してみるのである。それが現代科学では割り切れないところの正体であり、気の本体であり、PSIの核であると考えてみるのである。

ところ(虚数)とところ(虚数)が通じ合えば、何か実体(実数)が生まれてもおかしくはない。気と気が通じ合えば、合気道ではないが、大男も投げ飛ばされてしまう。ユリ・ゲラーはスプーン曲げや種の発芽実験をやる際に、周囲の環境(場)を活用する。虚数はイマジナリーナンバーと呼ばれ、 $i$ と表す。 $i$ (愛)からエネルギーを引き出すのである。フリーエネルギーの永久機関



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

## PSI と進化についての一考察

阿久津 淳

### 自然観察から

下手の横釣り師として、川や海を観察していると、どうしても理解できない光景に出くわす。例えば、河口でボラが飛び跳ねたりするのだが、いったい何故そんな行為にでるのがわからない。雄が雌の注意を引くのだから、体についた寄生虫を追い払うのだから、より大きな魚に追われているのだから、仲間じゃれ合っているのだから考えるのだが、どうもじっくりいかないのである。むしろボラの遊びであると考えたと納得するのである。つまり生物には生物の主体性があるという考え方である。

### 進化とは何か

森に住んでいたわれら先祖が大地溝帯に降り立ち、離せずにいる木切れを右手に、石のかけらを左手に持ち、群れなすハイエナやチータのような猛獣を相手に応戦しつつ、直立二足歩行に進化していったことは容易に想像できる。敵がいなかを遠くに眺めるミーアキャットの姿を想起すれば、敵の有無や好物の有無を先祖が好奇心をもって観察していたのだろうと考えることができる。

機会あって、そういう妄想をゴリラ研究の第一人者山際寿一京大教授(現京大学長)に話したところ、一言「エネルギーの効率がいいのだ」とご教示された。直立二足歩行は両手の開放とともにエネルギーの効率化という2つの要素のシナジー効果による成果だったようなのである。

### 進化と科学技術

チンパンジーとヒトとは2%のDNAの違いがあるとされている。チンパンジーとネアンデルタール、ネアンデルタールとヒトとは1%の違いがあるらしい。前者は言語が関わっているとされている。後者はおそらくは抽象能力だろうと思うのだが、いかがだろうか? 言語と抽象能力の2要素が仲間とのコミュニケーションや石器・土器などを生み出していったのだろう。木切れと石のかけらがシナジー効果として石器ややじりを生み、それに言語や抽象能力が加わり、狩りや漁が大規模化していったのだろう。車輪と馬が馬車を生み、蒸気機関やエンジンが機関車や自動車を生み、やがて携帯とPCがスマホを生んでゆく。

### シナジー効果 1+1=4

私たちの教育では1+1=2である。どうしたって2である。これが4になると主張したのは「宇宙船地球号」の建築家バックミンスター・フラー。彼によれば、2つの三角形を組み合わせると4つの三角形ができあがるというのである。まず一つの三角形を変形させ、もう一つもまた変形させる。変更した2つの要素が正四面体を形成するというわけである。これはマッチ棒3本で作った三角形にもう3本のマッチ棒で4つの三角形を作れ! といった問題にそっくりである。答えは簡単で、立体的に構成すればいいということなのだ。ここで重要なのは各要素が改変し、次元を一段アップ(アセンション)させた場合の